

## 真岡木綿を使用した各階案内表示

真岡の自然を各階に配色しています



## 案内図



### 新庁舎へのアクセス

#### ● 電車でのアクセス

- ◎ JR小山駅から宇都宮線で石橋駅へ  
石橋駅からバスで「真岡市役所前」停留所まで30分
- ◎ 真岡鉄道真岡駅より徒歩15分
- ◎ 真岡鉄道北真岡駅より徒歩15分

#### ● 自動車でのアクセス

- 北関東自動車道  
真岡インターチェンジから10分

# 真岡市 新庁舎のご案内





## 真岡市長のごあいさつ



真岡市長 石坂 真一

このたび、真岡市の新しい庁舎が完成しました。

これもひとえに、市民の皆さまをはじめ、市議会、関係各位のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

新しい庁舎は5つの建設基本方針に基づき整備を進め、災害時における行政機能の維持や防災拠点としての機能を備えております。

外観は、「人と人とのつながりを紡ぐ市庁舎」をイメージし、縦の糸と横の糸を紡ぐ、真岡木綿のような繊細で奥行きあるデザインで、真岡市の新たなシンボルになるものと考えております。

真岡市では、新庁舎の完成を契機として、すべての職員がさらなる市民サービスの向上を図り、市役所が市民の皆さまの身近な存在となるよう努力するとともに、新たな思いで「～だれもが“わくわく”するまち～」を市民の皆さまとともに実現してまいります。

## 建設経過

平成23年9月～	新庁舎建設基本構想の検討開始		
平成26年1月	新庁舎建設基本構想の策定		
平成26年6月13日～	基本計画検討市民会議(全5回)		
平成27年3月	新庁舎建設基本計画の策定		
平成27年12月～	新庁舎建設基本設計に着手		
平成28年5月25日～	新庁舎建設市民会議(全5回)	平成30年9月27日	新庁舎建設工事の工事請負契約締結
平成29年3月	新庁舎建設基本設計の策定	平成30年10月11日	新庁舎建設工事の起工式
平成30年4月4日	施工候補者選定審査委員会(全3回)	令和2年7月27日	新庁舎竣工
平成30年8月1日	新庁舎建設工事の入札	令和2年9月13日	新庁舎竣工記念式典
		令和2年9月23日	新庁舎開庁

## 新庁舎施設の概要

### 敷地概要

所在地	栃木県真岡市荒町5191番地
敷地面積	13,899.32㎡
(主に駐車場として整備する旧庁舎面積を含む)	

### 建築概要

主用途	市庁舎(事務所)	構造	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)／基礎免震構造
建築面積	4,745㎡	設計・監理	(株)松田平田設計
延床面積	13,770㎡	施工者	鴻池・剋真・松本JV、光陽・栄真JV、岩原・扶桑・ウエノJV
階数	地上5階+塔屋		

## 新庁舎建設の基本方針

1 市民サービスの向上	来庁者が一目で分かりやすい部門配置とし、プライバシーに配慮した相談スペースを設置するなど、市民サービスの向上が図られる庁舎とします
2 安全・安心の拠点	耐震性と安全性を備え、災害発生後も庁舎機能を維持するための設備を備えた、防災・災害復興の拠点として市民の安全・安心を確保した庁舎とします
3 すべての人にやさしい庁舎	利用の頻度や年齢などにかかわらず、すべてのスペースをすべての人が利用しやすい、やさしく機能的な庁舎とします
4 環境への配慮	自然エネルギーを活用し、省資源・省エネルギーを図るとともに、周辺環境に配慮した、景観との調和のとれた庁舎とします
5 機能的な庁舎	有効な財源の確保や建設費用の抑制に努め、維持管理や設備改修などの将来的負担の軽減を図りながら、運営・維持管理がしやすい、市民ニーズや時代の変化に柔軟に対応できる庁舎とします



# 各課案内



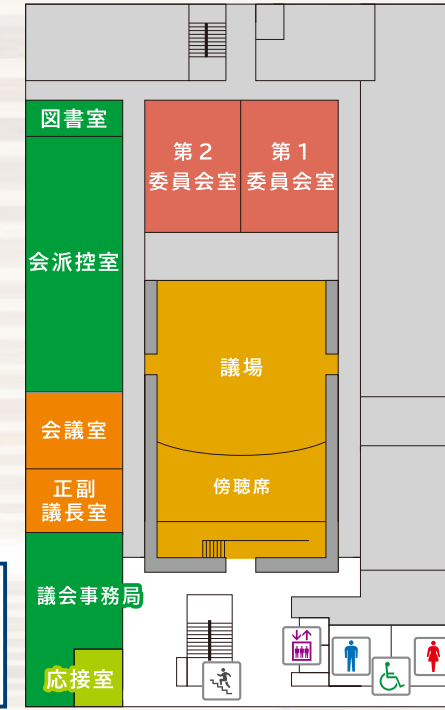
2階



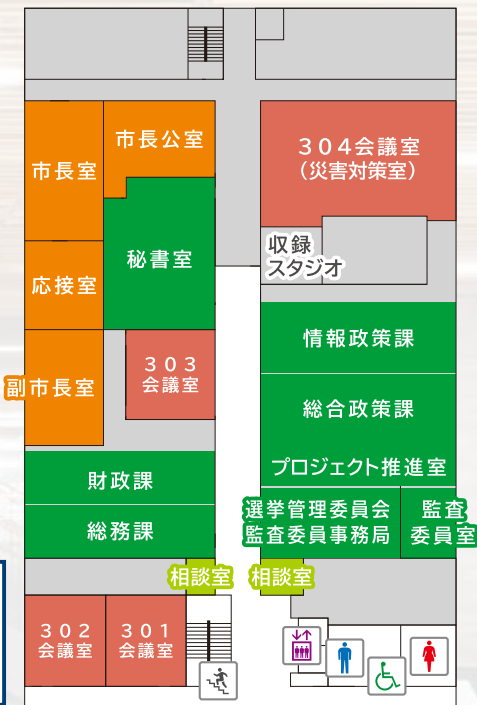
1階



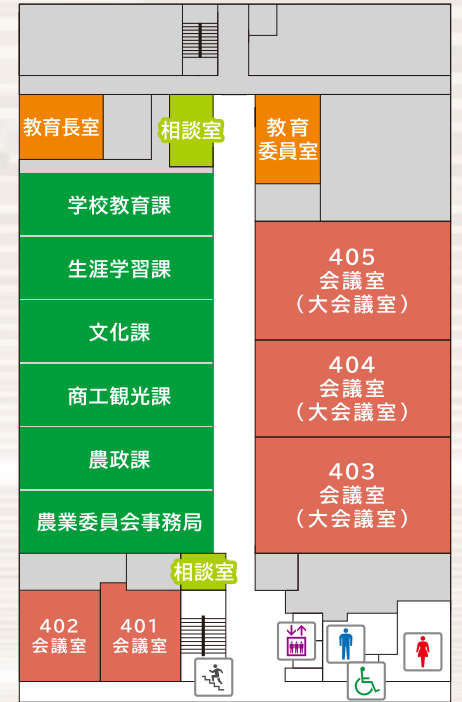
5階



3階



4階



※令和2年9月23日 開庁時のものです。



男子トイレ



女子トイレ



エレベーター



階段



多目的トイレ



赤ちゃんの駅



自販機



ATM



会議室

使い勝手に合わせて開け閉めできる移動間仕切りを用いた、フレキシブルで明るい会議室。



赤ちゃんの駅

授乳できる個室を2つ設置し、プライバシーに配慮しています。



多目的トイレ

誰にでも利用しやすいトイレを各階に設置。洗浄水は雨水を利用し、環境にも配慮しています。



# 新庁舎の機能案内



## 開放的なもおかテラスと市民プラザ (青空ステーション)

2階南側の日当たりの良い、もおかテラスと市民プラザは、イベント等で一体的に利用できます。また、災害時には支援のための作業スペースとして利用できます。



## 伝統工芸の真岡木綿を 各階に配置

真岡の自然や伝統が感じられる、いちごや水の色をイメージした、5色の真岡木綿を各階に配置しています。



## 県産材を用いた 暖かみを感じる庁舎

1階ロビーの天井や5階議場の壁等に、暖かみを感じる栃木県産材の杉を用いています。



## 議場

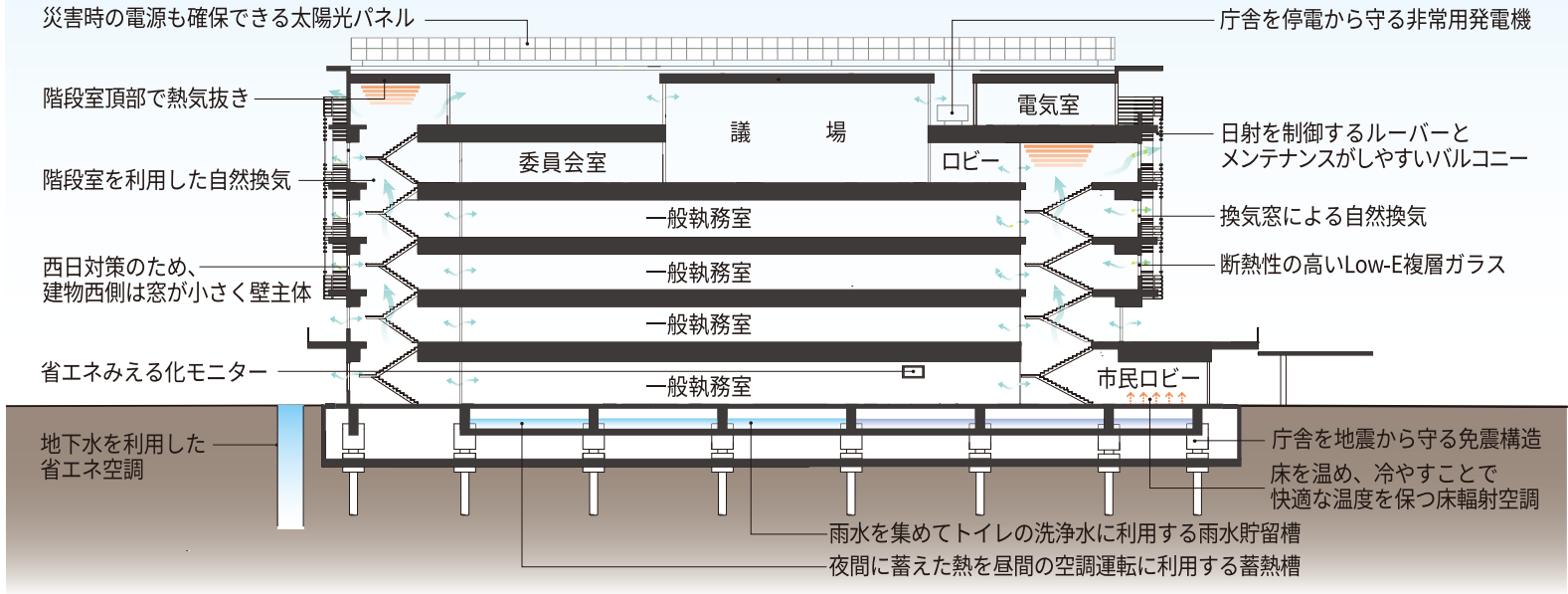
議員席や傍聴席に、車椅子利用者用のスペースを確保したバリアフリー対応の議場。

## 市民に親しまれる真岡らしいデザイン

「人と人のつながりを紡ぐ市庁舎」のイメージとして、縦の糸と横の糸を紡ぐ真岡木綿のような、繊細で奥行きのある外装デザイン。



## 省エネに配慮した災害に強い庁舎



## 地震に強い庁舎

免震構造が揺れを軽減し、震度6強の地震が発生しても、庁舎としての機能が維持されます。



## 機能的な外装

縦と横の糸を表すルーバーとバルコニーや複層ガラスにより、日射を遮り、断熱性能をUPさせることで、空調エネルギーの削減を図ります。



## 自然エネルギーの利用

屋上に約40kwの太陽光発電設備を設置し、自然エネルギーの有効利用を図ります。



## 窓口部門を 集約配置

1階に来庁者の多い窓口部門を集約して配置し、一目で見渡せる一文字型のカウンターとしています。



## わかりやすい サイン計画

見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用した案内表示としています。